

余市町地域公共交通計画の一部を次のように変更する。

改正後	改正前																																																																																																																								
<p>序.計画策定の目的（略）</p> <p>1.計画の基本的な方針（略）</p> <p>2.定量的な目標の設定</p> <p>2.1 目標の設定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">①基本方針1:市街地等における効果的な町内公共交通の見直し</th> </tr> <tr> <th>評価指標</th> <th>現況</th> <th>目標(2029年)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">余市循環線</td> </tr> <tr> <td>年間輸送人数</td> <td>22,945人</td> <td>22,000人※1</td> <td rowspan="3">現況は R6 フィーダー補助申請 数値</td> </tr> <tr> <td>収支率</td> <td>37.1%</td> <td>38%※2</td> </tr> <tr> <td>行政負担額(余市町)</td> <td>3,671千円</td> <td>3,168千円</td> </tr> <tr> <td colspan="4">※1 年間輸送人数は、社人研推計による2025-2030年人口減少率(生産年齢・老年)6.63%を見込む</td> </tr> <tr> <td colspan="4">※2 収支率については、経費の増加(R5-R6実績106.9%)や運賃改定、国庫補助など不確定要素が多いことから、現状維持を目標とする。</td> </tr> <tr> <th colspan="4">②基本方針2:郊外部において地域に親しまれる新たな公共交通の運行</th> </tr> <tr> <th>評価指標</th> <th>現況</th> <th>目標(2029年)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td colspan="4">郊外公共交通</td> </tr> <tr> <td>年間輸送人数</td> <td>1,239人 ※1</td> <td>1,788人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>収支率</td> <td>4.3% ※1</td> <td>10.2% ※2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>行政負担額</td> <td>8,224千円 ※1</td> <td>2,590千円 ※3</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">※1 現況はR6実証運行(7か月間)の経費を1年間として再計算し、運賃300円で行政負担算出</td> </tr> </tbody> </table> <p>以下略</p>	①基本方針1:市街地等における効果的な町内公共交通の見直し				評価指標	現況	目標(2029年)	備考	余市循環線				年間輸送人数	22,945人	22,000人※1	現況は R6 フィーダー補助申請 数値	収支率	37.1%	38%※2	行政負担額(余市町)	3,671千円	3,168千円	※1 年間輸送人数は、社人研推計による2025-2030年人口減少率(生産年齢・老年)6.63%を見込む				※2 収支率については、経費の増加(R5-R6実績106.9%)や運賃改定、国庫補助など不確定要素が多いことから、現状維持を目標とする。				②基本方針2:郊外部において地域に親しまれる新たな公共交通の運行				評価指標	現況	目標(2029年)	備考	郊外公共交通				年間輸送人数	1,239人 ※1	1,788人		収支率	4.3% ※1	10.2% ※2		行政負担額	8,224千円 ※1	2,590千円 ※3		※1 現況はR6実証運行(7か月間)の経費を1年間として再計算し、運賃300円で行政負担算出				<p>序.計画策定の目的（略）</p> <p>1.計画の基本的な方針（略）</p> <p>2.定量的な目標の設定</p> <p>2.1 目標の設定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">①基本方針1:市街地等における効果的な町内公共交通の見直し</th> </tr> <tr> <th>評価指標</th> <th>現況</th> <th>目標(2029年)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="4">余市循環線</td> </tr> <tr> <td>年間輸送人数</td> <td>22,945人</td> <td>22,000人 ※1</td> <td rowspan="3">現況は R6 フィーダー補助 申請数値</td> </tr> <tr> <td>収支率</td> <td>37.1%</td> <td>38% ※2</td> </tr> <tr> <td>行政負担額(余市町)</td> <td>3,671千円</td> <td>3,700千円 ※3</td> </tr> <tr> <td colspan="4">※1 年間輸送人数は、社人研推計による2025-2030年人口減少率(生産年齢・老年)6.63%を見込む</td> </tr> <tr> <td colspan="4">※2.3 収支率・行政負担額については、経費の増加(R5-R6実績106.9%)や運賃改定、国庫補助など不確定要素が多いことから、現状維持を目標とする。</td> </tr> <tr> <th colspan="4">②基本方針2:郊外部において地域に親しまれる新たな公共交通の運行</th> </tr> <tr> <th>評価指標</th> <th>現況</th> <th>目標(2029年)</th> <th>備考</th> </tr> <tr> <td colspan="4">郊外公共交通</td> </tr> <tr> <td>年間輸送人数</td> <td>1,239人 ※1</td> <td>1,848人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>収支率</td> <td>4.3% ※1</td> <td>6.4% ※2</td> <td></td> </tr> <tr> <td>行政負担額</td> <td>8,224千円 ※1</td> <td>8,041千円 ※3</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="4">※1 現況はR6実証運行(7か月間)の経費を1年間として再計算し、運賃300円で行政負担算出</td> </tr> <tr> <td colspan="4">※2.3 収支率・行政負担額の目標については、計画期間中に実施予定の利便増進実施計画策定と併せ、新たな公共交通の運行計画の精緻化、国庫補助見込み額の算出を行い、必要に応じて再度設定する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>以下略</p>	①基本方針1:市街地等における効果的な町内公共交通の見直し				評価指標	現況	目標(2029年)	備考	余市循環線				年間輸送人数	22,945人	22,000人 ※1	現況は R6 フィーダー補助 申請数値	収支率	37.1%	38% ※2	行政負担額(余市町)	3,671千円	3,700千円 ※3	※1 年間輸送人数は、社人研推計による2025-2030年人口減少率(生産年齢・老年)6.63%を見込む				※2.3 収支率・行政負担額については、経費の増加(R5-R6実績106.9%)や運賃改定、国庫補助など不確定要素が多いことから、現状維持を目標とする。				②基本方針2:郊外部において地域に親しまれる新たな公共交通の運行				評価指標	現況	目標(2029年)	備考	郊外公共交通				年間輸送人数	1,239人 ※1	1,848人		収支率	4.3% ※1	6.4% ※2		行政負担額	8,224千円 ※1	8,041千円 ※3		※1 現況はR6実証運行(7か月間)の経費を1年間として再計算し、運賃300円で行政負担算出				※2.3 収支率・行政負担額の目標については、計画期間中に実施予定の利便増進実施計画策定と併せ、新たな公共交通の運行計画の精緻化、国庫補助見込み額の算出を行い、必要に応じて再度設定する。			
①基本方針1:市街地等における効果的な町内公共交通の見直し																																																																																																																									
評価指標	現況	目標(2029年)	備考																																																																																																																						
余市循環線																																																																																																																									
年間輸送人数	22,945人	22,000人※1	現況は R6 フィーダー補助申請 数値																																																																																																																						
収支率	37.1%	38%※2																																																																																																																							
行政負担額(余市町)	3,671千円	3,168千円																																																																																																																							
※1 年間輸送人数は、社人研推計による2025-2030年人口減少率(生産年齢・老年)6.63%を見込む																																																																																																																									
※2 収支率については、経費の増加(R5-R6実績106.9%)や運賃改定、国庫補助など不確定要素が多いことから、現状維持を目標とする。																																																																																																																									
②基本方針2:郊外部において地域に親しまれる新たな公共交通の運行																																																																																																																									
評価指標	現況	目標(2029年)	備考																																																																																																																						
郊外公共交通																																																																																																																									
年間輸送人数	1,239人 ※1	1,788人																																																																																																																							
収支率	4.3% ※1	10.2% ※2																																																																																																																							
行政負担額	8,224千円 ※1	2,590千円 ※3																																																																																																																							
※1 現況はR6実証運行(7か月間)の経費を1年間として再計算し、運賃300円で行政負担算出																																																																																																																									
①基本方針1:市街地等における効果的な町内公共交通の見直し																																																																																																																									
評価指標	現況	目標(2029年)	備考																																																																																																																						
余市循環線																																																																																																																									
年間輸送人数	22,945人	22,000人 ※1	現況は R6 フィーダー補助 申請数値																																																																																																																						
収支率	37.1%	38% ※2																																																																																																																							
行政負担額(余市町)	3,671千円	3,700千円 ※3																																																																																																																							
※1 年間輸送人数は、社人研推計による2025-2030年人口減少率(生産年齢・老年)6.63%を見込む																																																																																																																									
※2.3 収支率・行政負担額については、経費の増加(R5-R6実績106.9%)や運賃改定、国庫補助など不確定要素が多いことから、現状維持を目標とする。																																																																																																																									
②基本方針2:郊外部において地域に親しまれる新たな公共交通の運行																																																																																																																									
評価指標	現況	目標(2029年)	備考																																																																																																																						
郊外公共交通																																																																																																																									
年間輸送人数	1,239人 ※1	1,848人																																																																																																																							
収支率	4.3% ※1	6.4% ※2																																																																																																																							
行政負担額	8,224千円 ※1	8,041千円 ※3																																																																																																																							
※1 現況はR6実証運行(7か月間)の経費を1年間として再計算し、運賃300円で行政負担算出																																																																																																																									
※2.3 収支率・行政負担額の目標については、計画期間中に実施予定の利便増進実施計画策定と併せ、新たな公共交通の運行計画の精緻化、国庫補助見込み額の算出を行い、必要に応じて再度設定する。																																																																																																																									